京城新報

京城新報

排日思想と日米の關係(四)

於教育會本社長峯岸の講演

諸君、自分は日露開戰前宣戰詔勅の出たる少し前に或る任命を受けて紐育に往つた、其頃正金銀行の副總裁高橋是清金子堅太郎末松謙澄の諸氏も紐育と倫敦との間に於て外債を募る爲に往つたのである、自分の働きたることも後に至て是に關係せることが有つたのである、當時金子堅太郎氏は米國の各地に於て頻りに演說して米國人の同情を得んとしたのである、其演說の主意は日露戰爭は野蠻と文明の戰爭である、露國は野蠻である、日本は二千五百余年來皇統連綿たる金甌無缺の國である云々と云ひ專ら米國人の同情を博さんとしたのである、けれども米國人は斯る說には一向頓着せないのである、或る新聞の如きは之を評して嘲笑したのである、日本の密使は頻りに日本は二千五百年來皇統連綿たる國であるとか、日本は文明であるとか云ふが吾人が金を貸すには斯る事は何等の關係もない、日露の何れに拘らず安全で利子の取れると云ふ事が肝要である、二千五百年皇統が續く〳〵と續かざるとは吾人の關する所でない云々と之は恰も或る富家の主人が日本銀行に其家の系圖を持參して金を借らんとすると同一である、銀行に於ては多少の敬意を其主人に拂ふか知らぬが無抵當ではいくら系圖のみ正しくても金は貸さぬのである、之と同樣に如何に日本の國体が美々しくも米國は之に依りて金を貸さぬのである、英國は同盟國であるから容易に之が運ぶかと云へばそうは行かぬ、矢張り容易に出來ないのである、漸くにして稅關の收入を擔保として出來ることになつたが利子も甚だ高いのである、其當時玖馬からも米國に金を借りに來て居つた、之は抵當もなく利子も安くて早く出來たのである、斯の如き狀態であるから米國が表面何程同情する樣に見へても夫れは決して當てにはならぬのである、ペルリが日本を開放したと云ふけれどもそれは前に言ふた如く米國は亞細亞の貿易政策の爲に日本を一の停車場とする考より來たのである、決して之を以て好意的と見做すことは出來ないのである、それを日本が無暗に米國のお蔭であるが如く云ふのは却てよくないのである、禮儀も過ぎては害になることがある、否折角禮儀を盡くして輕蔑を招くの結果に陷入ることがある、斯の如くこちらから云へば先方は圖に乘て何もかも米國のお蔭であると云ふ樣になるのである開成學校の教師にフルベツキを遣り其他幾多の宣教師を送て文明に導いた杯と云ふのである、斯る輕侮の念が亦一の排日思想の原因となつて居るのである、而して米國人は云ふ、吾儕は斯くも日本を扶導したるにも拘らず米國人は日本に於て何等の利益を得ないで日本人は之を反對にドシ〳〵米國に來りて利益を占むるのであると不平を言ふ樣になつたのである、之が抑も禮儀が過ぎて却て輕侮の念を起さしめたる結果であると思ふ(未完)

寄書

漫言

不言生

世上には法律に觸れざる以外の犯罪を敢てするもの多きを見る犯罪とは何ぞや禁令命令違反の行爲を云ふなり法律以外の犯罪とは何ぞや神の定め給ひし禁戒を犯し、神の命じ給ひし命令に從はざるを云ふなり、看よ彼の書畫屋が應擧にもあらざる僞畫の虎を應擧の虎と誣ゐ狩野にもあらざる畫を狩野と詐り兆殿司にも非らざるを兆殿司と唱し乃至竹田にもあらざる山水を竹田と稱し數百圓を貪ぼるも法律は決して詐僞取財に問はざるなり又彼の呉服屋に行いて反物を購はんか眞正の博多織に非らざる帶地を博多と唱へ西陣にもあらざるを西陣と僞り知らざるものを欺くこと往々之れ有るも社會は決して欺くものを咎めずして欺かるゝものゝ愚を笑ふに止まるなり法律も亦又此等詐僞者を知れども知て罰せざるなり何ほ彼の賣藥の廣告の如き其功能書の如き事實無根なるを事實と誣ひ買客を欺きつゝあるも法律は決して之を問はざるなり若し此等犯罪をなすものあるも此儘に放任して防止の方法を講せずんば社會は只だ法律あるを知て神法あるを知らず於是か恥あつて且いたると云ふが如きは夢にも見ることを得ずして民免れて恥なきに至らん斯の如くんば社會の腐敗其極點に達せんのみ如何に法律万能主義者と雖も初めて人爲の不完全なるを知らん此等を救濟すること一に神法に在り吾人神法を見るに僞りの證を立つる勿れと眞に此世の人々が三分の一たりとも基督教徒たらんには僅かに世の腐敗をきむるてとの鹽とならんことを又彼の赤子の井に墜ち將に溺死せんとするものを見て救ふ可き術あつて而も助けざれば人にあらざるなり法律は之れを問はざるも神は決して許さゞるなり神の命令に曰く己を愛せる如く隣を愛せよと此命に隨はずして赤子を溺死せしめば其罪決して輕きにあらざるなり其他神の命令は智慧あるものには智慧を與へ理財の才に富めるものには金錢を與へて益々其智と其金錢とを增殖せしめ以て世間の愚者貧者を救恤扶養せしむ是れ神の命令なり然るに此等人々が自己の智あるに任せて愚者を輕蔑し金錢あるに任せて細民を惠まず遊興淫逸に其日を送らんか神の惠みを惠みさせず神の命令を命令と心得ざるなり願くば世の金滿家並に地位を有する識者が一日も早く神の福音を信じ法律に觸れざる以外の犯罪を恐れんことを

五月闇

(百十九) 河合柳葉

「其の仔細は、旦那樣も御存じで居らつしやいませうが、宇治に御室雅敦と申す御室の殿樣の御弟がお居でになりまするが、此の雅敦樣が奈何やら其の張本人で、山川と妹のお君と云ふ女が其下に尾いて働いて居るのかと考へまする」と、町田は自分の意見を述べる、

「なる程、然う聞けば然うかも知れない。」

と、道恭は思ひ當る事でもあるやうに云ふ、

「當時御前樣は、お君を連れて箱根にお出で遊ばして居らつしやる御樣子でございまするが、何より早くお知らせ申したいと云ふのはこの御前樣のお身の上でございます、山川が惡計で山中へお誘ひ申して殺害致さうと云ふことになつて、それがモウ今明日かとも思ひまするゆゑ實は京都へ出向いて居りまして、此事を知りましたゆゑ、宅へも歸らず、其まゝ上京致したやうな次第でございます、どうか一時も早く箱根へお出でになつて御前樣をお助け申し、其上で屋敷の處置を遊ばすやうに致したいと存じます。」

終始の顛末を聞き了つた道恭は、驚くまい事か吃驚仰天して、

「そりや容易ならざる大變だ、しかしそれは確な證據でもあるのであらうね。」

「證據は山川から雅敦樣へ惡事の成行を詳しく書いて送つた書面を持參して居りまする。」

「然ういふ確な證據のある上は、一刻も猶豫は相成らん、これから直に警察に參つて御前樣をお助けするやうに頼むで參らう、お前さんは、汽車の疲もあらうから、どうかまあ遠慮せずに休むで居て下れ。」

「私で間に合ふ事がございますなら、何でもお手傳ひ申しますから御遠慮なく仰せ付けて下さいまし。」

「事に依ると私と同道して箱根へ往つて貰ふかも知れんから、まあ横になつて休むで居つて下れ。」

と、其まゝ車に乘つて赤阪警察署へ馳せつけた、警察署へ着くと特に署長に面會して秘密に事情を訴へた、署長も容易ならざる大事件として直に警視廳へ電話を掛けた、警視廳でも華族家の一大騷動として警視が三四名の敏腕の刑事探偵を引連れて赤阪警察署へ馳せ付けた、

それより赤阪署の刑事と共に署長自ら箱根へ出張すること共に一面より箱根所轄の警察署へ打電して現場に出張させ、一面には警部兩名に刑事巡査と制服巡査十數名を引卒さして御室家に向はせ、又一面に京都府警察署へ電話を架けて、雅敦の逮捕を托し、全く惡漢逮捕の準備は遺憾なく整ふた、町田長次郎清川道恭は警察署から歸ると、直樣箱根へ向けて出發した、斯くて風前の灯火にも似たる爲雅が危ふき生命は救ひ得られ、企みに企んだ雅敦等の奸計は茲に全く破れ崩るべかりし御室家の礎も清川等の精忠に依りて再び泰山の安きに置かれたのであつた(完)

仁線 北行 [illegible]

釜線 北行 [illegible]

連絡船 [illegible]

義線 [illegible]

京城新報

何を奏上する

優詔に對して

余輩が夢の如しと評したる伊藤公は愈々來る十日を以て東上せらるべしと云ふ、聞く處に依れば今回の東上は畏き邊りの御召に依りて避寒靜養の爲めなりと、每度の事ながら我 聖上陛下の御仁慈深く常に老臣の身を軫念あらせられて勞はり給ふ、伊藤公が老軀を提げて南北兩韓に韓皇と共に巡視せられたるを嘉みせられて優詔を降し給いたるならん、之れ公に取りて最も光榮なる事ぞかし、聖意の優渥なる余輩韓國在住民に取りても恐懼措く能はざる所なり、公は 陛下の優詔に依り東上して如何なることを 陛下に奏上せらるべき乎、余輩は素より公の胸中に付度するものに非ずと雖も曾て統監政治の現狀を其まゝに奏上せらるゝならん、而して公が 陛下に對して忠實無二の臣たることは余輩の夙に認識する所なれども[illegible]二の人と雖も其觀識必ずしも誤りなき[illegible]を得るものに非ず、如何に正直純眞なる人と雖も一方に於て知識を缺くに於ては其の觀察を誤り愚者庸言者の言に等しき事も少しとせず、公が韓國に於ける施設を見るも誤れること少しとせず之れ公が韓國の事に就き總てに於て完全なる知識を有せざるに依る斯の如き公にして陛下に韓國の事情を奏上するに際し其の眞相に於ては毫も僞るに非ざるも其知識を缺けるが爲に誤謬に陷入るなきを保せず其結果は第三者より見れば殆ど虛言に等しき事を述べたるが如く思はるべし、縱令ば在任邦人が如何に公の施設の誤れるが爲に其發展を妨害せられ居ることは正直なる公と雖も奏上せざるべし、亦公自身が韓人より一の木偶視せられて其命令が常に愚弄を以て迎へられつゝあることをも奏上せざるべし、殊に今回の北韓巡視の際至る所に於て韓國民に侮蔑を受けたる事も奏上せざるべし、要するに斯る擧に出るとするも公が不正直なるが爲に非ず、公が全く在住邦人の發展を如何にせば可なるや亦韓人を服さしむるには如何にせば可なるかを知らざるの罪に歸する次第、亦暴徒の如きも未だ鎮定せざるに鎮定せるが如く、殖民韓國の產業が發達せずして發達しつゝあるてふ事を知らずして發達せるが如くに思ひ恐れ多くも奏上する杯は恐らくは常例の事ならん、公に於ては眞心以て之を奏上するならんが其結果は聰明を蔽ふの不臣たるの觀を呈さん乎、要するに之れ老いたる麒麟は駑馬に劣るが如く今日の伊藤公は昔日の伊藤公に非ず、只昔日の形骸のみ殘存するに過ぎず、公が 陛下に對し奉り無二の忠臣たるは何人も知る所なれども其誤れる觀察は恐れ多くも 陛下を欺き奉るが如き結果となるなり、畢竟之れ公の腦力は既に消耗して何事も明に辨せざるに依らん乎、然れども其虛榮心のみは猶ほ勃々たるが如し之を滿足せしむる爲に尙多く政略を用ゆるに汲々たり、故に今回の東上に於ても如何なることを 陛下に奏上して優詔に答へ奉らんとするか余輩は公に優詔の降下せるを聞き恐懼の念に堪へざるまゝ此言をなす、豈夫れ他意あらんや

東京電報

▲頌德表の奉呈

貴衆兩院は憲法紀念祭の當日を以て 陛下へ頌德表を奉る爲め目下交渉中なり

▲遞相の不人望

後藤遞相は啻に議員のみならず政府部內にても氣受けよろしからず桂首相も議會閉會を俟ち閣員の更迭をなすの意あり

▲[illegible]一致

[illegible]に對する兩院各派の意志は凡て反對に一致せり

▲皇太后の觀光

伊國皇太后は五月[illegible]觀光の爲め來京す（以上六日發）

雜報

●統監邸へ訪臨

韓皇は昨日午前十一時三十分御出門十二時統監邸に着統監府員は一同門前に整列して奉迎せり次で韓皇には親任官二十二名に陪食を賜はり終りて統監に左の勅語を賜はりたり

朕此次地方民情を視察せんが爲め西南各所を巡幸するに當り統監には前後其の老軀を惜しまず衛蹕扈從し朕が躬を稗益し至る所熱心曉諭し愚昧なる人民をして喚然氷釋感喜せざるものなからしむ居留貴國民も亦奔走共に來つて同情歡迎し和氣融々たるものあり之れ實に統監が誠實日韓兩國の爲めに誠心至意の浮格する所朕本日來訪勤勞を慰問し兼て感謝の衷心を表す

右に對し伊藤統監は即時左の如き意味の答辭を奉りたり

本日韓皇の御親臨を辱うし本回西南巡幸に當り本官の致したる微勞に對し優渥なる勅語を賜はり恐懼措く能はず洵に以て本官の光榮とする所なり爰に謹んで衷心謝意を表す

次で韓皇には綠泉亭に登臨し四顧の光景を展覽し再び統監邸に至り統監の居間を御覽あらせられ勅任官に謁見を賜はり午後二時御還幸あらせられたり

●東拓指定銀行

東洋拓殖株式會社法第二十二條に依り同會社營業上の餘裕金を預金する銀行左の通り大藏省及び農商工部より指定せり

株式會社 日本興業銀行
同 十五銀行
同 第一銀行
同 第百銀行
同 三十四銀行
合名會社 三井銀行
同 安田銀行
三菱合資會社 銀行部
株式會社 住友銀行
同 山口銀行
同 [illegible]農工銀行

●韓海出漁の成績

[illegible]縣水產組合長の談に依れば昨年中同組合管轄內より韓國に移住したる出漁者は[illegible]同郡苅田浦二戸企救郡東郷村柄杓田一戸にして同年中の捕獲魚類價格は一万六千[illegible]百四十[illegible]に達し漁具の仕入並に食料品代千八百七[illegible]建網、鯛[illegible]、鯖[illegible]又短期出漁船[illegible]二十一艘乘組員九十一人にて[illegible]は宇島八屋松江[illegible]苅田柄杓田等にして漁獲代金八[illegible]二十八圓の收益となりたり而して巨濟島入佐村に長期移住者（三十八年渡航）築上郡宇島浦川口万太郎上田重五郎山崎幸次郎佐藤[illegible]耕作し年々百圓以上の收穫あり漸次開墾に着手し居りて成績頗る良好なれば同組合にては今後益々長期移住を獎勵する方針也と

●駐韓軍の經費

三日の衆議院豫算分科會にて寺內陸相は委員の質問に答へて曰く現在韓國に駐屯する我陸軍は常備の一個師團以外に一昨年新協約締結の際蜂起したる暴徒討伐のため臨時に派遣したる步兵三個聯隊、騎兵一個聯隊及び憲兵二千名あり而して常備一個師團と憲兵隊の經費は軍事費より支出し其他は臨時部より支辨し居れるが最初韓國駐屯軍一個師團の經費は內地の約二倍即ち五百萬圓を要したりしも今日に至りては多少減額の餘地を生じ四十二年度豫算にては一個師團につき四百萬圓を要することとなり之れを內地一個師團經費二百二十七萬圓に比すれば約三分二の增加なりと

●[illegible]

東洋拓殖株式會社は[illegible]の登記をなす必要上假りに南大門外に本社事務所を設けたる事は既報の如くなるが爾來種々其の位置に關して調査したる結果元軍司令部跡を以て最も適當なりと認め軍より此れを借受くる筈にて韓秘書役長昨日龍山なる軍司令部に出頭し交涉中の由なるが多分異議なく決定すべしと云ふ

●宮內大臣渡日

韓皇は今回の南北巡幸に對する日本皇室の好意を謝する爲め伊藤統監の歸朝と同時にあらざれば或は統監の歸朝後間もなく宮內大臣閔丙奭氏を勅使として渡日せしめらるべしと云ふ

●滿州の新軍港

徐總督は昨年錦州附近の蓮山灣に軍港を設置せんとの意見を上奏し北京政府も之に贊成し英國技師をして調査設計せしめ遠からず工事に着手せんとしつゝあり同灣は三面山を負ひ灣內水深く自然の良港なり

●着任後の總裁

一昨夜入城したる宇佐川拓殖會社總裁は昨日午前九時より同會社重役及び事務員一同を巴城館に集め一場の挨拶をなし終りて社宅撰定のため一々候補家屋を視察せりと云ふ

◎李完用渡日せず

伊藤統監の歸朝と共に李完用渡日の希望ありたる模樣なりしが韓皇は別項記載の如く閔宮相を渡日せしめらるべく李完用は渡日せずといふ

◎伊藤統監の參內

伊藤統監は韓皇行幸相成りたる御禮として六日午後三時頃還宮後參內せられたり

◎總裁の統監訪問

宇佐川東拓總裁は六日午前統監邸に伊藤統監を訪問したり

◎日高秘書官歸[illegible]

日高內大臣秘書官は本日午前南大門八時五十分發の列車にて歸朝されたり

●開城行在所の保存

今回の行幸に使用せられたる開城なる行在所は郡衙內の一建築物にして行幸前は守備隊の營舍に使用せられたるものなるが當局者は永久に行幸紀念として閉鎖保存するの意にて目下內部軍司令部間に交涉中なりと云ふ

●統監歸朝隨行員

伊藤統監歸朝に付隨行を命ぜられたるは村田外波兩武官古谷秘書官小山技師神保屬小田倉囑托外二三の屬なり

●浦港閉鎖と淸韓民

露國上下兩院を通過したる浦鹽自由港閉鎖案は一月二十九日を以て裁下せられたる事は既報の如くなるが該法律案の同港に實施せらるゝは近々のことなるべく我貿易が此に依りて多少の影響を蒙るは逃るべからざる[illegible]同港に於ける一ヶ年間の輸入總額は[illegible]るが其內の四千四百八十九萬六千四百三十七留は歐露より輸送さるゝ者にて諸外國品にて同港に入る者は八千五萬五十二萬千八百九十七留に過ぎず而して我商品の同港に輸入さるゝ額は其の約一割即ち九百四十四萬九千六十七留なり元來此回の閉鎖案は其の目的とする所露國の自國工業の保護と淸韓移民の制限に在るを以て露國工業の敵手たる者最も多くの苦痛を感ずべく我國の輸入品の如き食料日用品に屬する露國工業の非競爭品は其影響を受くること極めて僅かなるべきは茲に言ふ迄もなし此回の閉鎖により最も多くの打擊を蒙るは獨米品にして人民としては西伯利亞在留の淸韓移民は其最も多き苦痛を感ずる者也

●輸出韓牛と牛疫

昨年日本內地に於て韓牛疫疾に感染して以來內地活牛業者の誤解を招き遂に韓牛の輸出は殆んど杜絕の姿となりて韓國活牛業者の最も苦慮せし處なるが漸く昨今內地に於ても韓牛より牛疫發生せしにあらざる事を知るに至り漸次之が輸出も增加するの傾向見えたるが會々今回咸鏡北道に於て牛疫發生したる爲め再び內地において韓牛に對する疑惑の聲を聞くに至りしが元來韓國輸出の韓牛は全く京城以南の牧場に飼養せらるゝものゝみにして最も體質完全にして各獸醫者の賞贊する處なるが北道の牛疫騷ぎの余波を受けて再び輸出の減退を見る事あらば韓國活牛業の爲めに憂ふる處なりと某當業者は語りたり

●陵園墓山林の調査

昨年帝室有不動產を國有に移屬せられたる結果全國各地に存在する陵園墓の附屬山林も國有となり其の主管は農商工部とし同部山林局に於て其の事務を取扱ふ事となりたるを以て此の山林の保護並に處分に關しては充分の調査をなすの必要あり同部は近々中平田技師及び本間囑托を水原、楊州、開城及び漢城府附近の陵園墓に出張せしめて右の調査をなさしめ尙漸次に全國の調査をなす筈なりと云ふ

●慶南道東拓出張所

東洋拓殖會社の事業として慶南地方に出張所を設置すべく其地點は釜山、大邱に擇ばず既報の如くなるが同出張所は大邱を先にし釜山は其後ならんといふ

●地方土木主事任命

本年より各道に任命すべき日本人主事に關しては既報の如くなるが其の內土木事務に當る主事は從來技師として中央及び地方の土木事務に從事せるものゝ大部分を採用する事となせりと聞く

●地方請願巡查認可

內部は曩きに地方に於ける事業の保護取締りのため請願巡查の規程を定めたる事は既報の如くなるが今回此の規定に依り仁川水道築造工事の人夫取締のため日本人巡查一名及び不[illegible]礦業所工夫取締[illegible]日本人巡查一名韓人巡查一名の請願ありしが認可さるゝ筈なり

●奉天商業界の近況

商況不振の結果奉天の淸商にして舊曆の年末並に年始に至り破產に及ぶもの多かるべしと豫想せられつゝありしが結果は之れに反して實際の破產者は至つて少數なりしと此の原因に付ては商況不振の爲め一般に警戒を加へたると折柄國喪中なれば遊興奢侈等の爲めに費すことを避け[illegible]其營業を[illegible]守りたる爲めなりと云ふ

●海賊大掃蕩の急務

全羅南道に於ける暴徒は目下の狀況によれば所安島を中心とし附近の島々は頗る危險の狀態に陷り木浦附近居住漁業者及び小形運搬業者は爲めに業務に從事し難く尙數十日後本邦より來航すべき多數の漁業者に對しても多大の影響を及ぼすべき有樣にて此際該島附近の海上掃討を實行する目下の急務にして而も軍艦又は水雷艇の巡航の如きは以てその實功を期し難く寧ろ小形汽船に數隻の小船を從へ之れに數多警官を乘り込ましめ長き期限に亙りて各島嶼を掃討せしむるは目下適切なる討伐方法なれば中大路木浦理事官よりは此趣き釜山水產組合本部に照會する所ありといふ

◎暴徒永平を襲ふ

一昨日約三百の暴徒京畿道永平に來襲したる報ありたるを以て警察官及び憲兵隊を同地に向け急派せし筈なり

●釜山出入大貨物

一月中鐵道作業局に取扱たる輸送輸出大貨物は八百八十六屯にて前年一月に比し十四割四分六厘の增加輸入一千六百十一屯にして前年一月に比し六割五厘の增加なり

●平南地方官煙賣行

平安南道地方に於ける官煙の賣行は年一年好況に向ひつゝあり昨今口付は韓人間に於ても喫用者を增加しつゝあれば從つて輸入增加の一方なり然れど富士及敷島は原料不足の爲め需用に充たす能はざる有樣なり而してトラスト對抗として發出したるエアスは非常に好調を呈し來れり猶目下同地方輸入は一ヶ月平均二百五十梱內外なりと

●致死罹災と救恤金

出火又は洪水の爲めに被害むたるものに對しては從來の慣例に依り救恤金を下付したるが客年十二月一日より同二十六日に至る救恤金は左の如し

（場所）	（致死）	（罹災戸）	（金額）
漢城府	…	三	九〇
全北	…	二三	六、九〇
全南	三	…	二、二五
慶北	三	九二	二九、八五
慶南	五	一二七	四一、八五
江原	…	四	一、二〇
平安	四	…	三、〇〇
合計	一五	二四八	八五、〇五

因みに致死は一人七十五錢罹災戸は一戸三[illegible]錢なりと

●[illegible]

[illegible]る群山の外國貿易額は輸出總額百八十三萬三千四百五十六圓輸入總額九十七萬六千四百八十九圓輸出入合計二百八十萬六千九百四十五圓之れを一昨年即ち明治四十年の二百八十三万八千二百二十一圓に比すれば三萬餘圓の減額を示せり

●ヘデン博士旅費と著書

昨冬來韓ありし彼の有名なる探險家ヘデン博士が三年間西藏にて費したる旅費は七万五千圓にて夫れより產出したる著物と地圖は三萬八千三百三十圓なりと云ふ

●建築所出張所新築

鎮南浦築港工事に着手するに就ては度支部建築所出張所は家屋狹隘を感ずるのみならず材料等の置場に多數の地面を要するより近々受負に附して新築すべしとは豫て耳にせる所なるが右は現商船會社構手の税關構內に建築する事となり入札の結果五島榮藏氏に落札せり此建坪は二十九坪五合にして二月五日起工八月三十一日落成の契約なるも五島氏は其節の內意を諒として四月中には落成せしむべき豫定なりと云ふ

●平壤在監者の增加

平壤監獄一月末日現在に於ける在監者の數を聞くに未決者七十三名、既決者二百二名計二百七十五名にして前月に比し二十三名を增加し又前々月に比し三十七名を增加したりと

●中島少佐の出發

駐韓軍司令部參謀より小倉聯隊附に補せられたる中島少佐は六日午前八時五十七分龍山發列車にて任地に向け出發したるが軍司令部幕僚其の他多數の見送人ありたり

◎[illegible]大佐の來韓

滿州駐在の第十師團步兵第十聯隊長諸平茂大佐は武田主計正を隨へ駐韓軍視察を命ぜられ四日遼陽を出發せり

●憲兵將校の着任

今回駐韓憲兵隊附を命ぜられたる憲兵大尉鈴木平同大橋富三郎同小崎三郎中尉井原德松の諸氏は六日着任せり

[illegible]る弊害を矯正すべく右に就き白耳義政府は議讓採收を建議する二大會社に對し彼等の所有地に於ける右採收を一ヶ年內に禁止す[illegible]三百四十萬磅の未拂込資本を募集すべし右兩會社は既に百五十萬磅の利益を配當せり其他司法及び行政上の改革斷行せらるべし[illegible]べしと通告せり[illegible]

●軍馬の仁川上陸

憲兵隊に於ては軍馬三十七頭十日仁川より上陸するを以て大澤獸醫は之が受領を命ぜられたり

●本日の集會

▲京城日本基督教會 旭町四丁目なる同教會にては午前九時より日曜學校同十時より大石原牧師の「基督者の本領」午後七時より大谷氏の「高尙なる自覺」と題する講話あり

▲京城組合基督教會 日の出町なる同教會にては午前十時より米澤牧師の「人生之運山」午後七時半より同牧師の「宗教之眞諦」と題する講話あり

▲日本メソヂスト教會 旭町二丁目名古屋城內なる同教會にては午前十時より山口縣平民の「聖書の研究」同十一時より木原牧師の「大膽なる要求」午後七時より勸話並に傳道會あり

▲長谷川町西本願寺 同本願寺にては午後七時半より伊藤[illegible]教使の說教あり

◎近事片々

▲昨日は韓皇統監邸に臨まる盛宴に列せる者文武百官綺羅星の如し天下泰平可祝也
▲一度籠居主義破られて驚輿頻に動く之れ韓皇室の慶事也願はくは皇化洽ねかれや
▲之を見るに就けても太皇帝は左こそと大に悟了せらる所ありけんあな目出度き事
▲更に進で韓皇が宗主國たる日本を見舞はるゝ時は何れの日ぞや疾く其日來れかし
▲韓太子既に日本に研究せられ居り情報常に絕へざらんさらば日本の眞意明ならん
▲韓皇にして一度日本に遊び玉はゞ韓國民の猜疑心も更に氷釋して結果必ず良好也
▲韓民未だ日本の眞意を解せざる爲に種々に猜疑をなす之を消除するが就導の役也
▲一度は騷ぐも韓皇にして日本に幸せば韓民等始て其考への誤なりしを悟る以必定
▲之を實行するには矢張伊公の斡旋に依らざる可らず伊公は夫れ何と考へらるゝや
▲本日は官民聯合にて伊藤統監と大久保司令官との送迎會を開くと噂や盛會ならん
▲送迎會に於て聞かれとする所は伊公が南北兩韓巡視に於ける[illegible]の演說にて候也
▲昨年伊公が歸來の際に開きし送別會には殆ど辭意を決せる如き演說ありしと覺ゆ
▲今回は何と仰せらるゝか亦も乃公が居らずとも對韓政策は變らずとの託宣ありや
▲米國加州大學にて日本學生の一人が白人學生の爲に亂打せられしとの報は事實乎
▲大統領が頻に親交の意を表し小村外相が彼に信賴しつゝあるも排日氣勢は熾也
▲博士グリッフィスが政府に於て日本は米國に好意を表しつゝあり他意なしと云ふ
▲更に一轉語を下して若し對等の待遇をせざれば何國と雖戰を避けざるべしと唱破す
▲博士は能く日本人の性質を知るもの也輿に野蠻扱をすると日本人は終には怒る也
▲田中宮相も愈々辭職を決心せりと之が至當である運命ながら自分を能く知る者也

管轄内より韓國へ移住したる出漁者は[illegible]二十四人にして其内譯は[illegible]十六圓に達し漁具の仕入價魚購買代千八百七[illegible]漁業は大敷網、[illegible]網、[illegible]釣、手繰[illegible]三千八百五十七圓を要し差引四千五百[illegible]五反歩の畑地に開墾し麥大豆其他野菜類を[illegible]島浦川口万太郎上田重五郎山崎幸次郎佐藤[illegible]

●昨朝の大火災

全燒十二戸 ▲損害參萬圓 ▲火元爭ひ

昨午前四時廿分當地旭町一丁目に大火起れり、時恰かも市民の熟睡の頭とて人寄り遅く遂に十二戸を全燒し漸く午前六時消火したるが今左に其模様を摘記せん

▲出火の發見者 昨七日午前四時[illegible]旭町一丁目居住京釜鐵道會社列車の[illegible]サダ佐藤寛治の妻某が便所へ行かんとする[illegible]折柄其近隣のうどん屋飯田凉一郎（旭町一丁目三百二十三番地）方と桶屋澄川藤吉方との中間より發火し居るを認め、直ちに戸外に飛出で兩家を[illegible]起せしが此時既に[illegible]東南の風に煽られ益々猖獗を逞せんとしつゝありたりと

▲延燒十二戸 斯くて近隣の人々も漸く目を醒まし何れも避難の準備を爲すしが紅蓮の焔は[illegible]切つたる軒傳ひに四隣に延燒し遂に左記十二戸は全燒に歸し其損害約三萬圓なり

旭町一丁目飯田凉一郎（温飩屋）澄川藤吉（桶屋）小松精義（雜貨商）中村六助（下駄屋）谷直藤之助（製本）安東貞一郎（病院）淺野正之助（藥屋）新川源喜（雜貨商）久保愼一（綿屋）藤岡源太郎（紙屋）佐藤寛治（コツク）空家一戸

▲監獄に延燒す 桐原南部署長は此日第一着に現場に駈け附けたるが風位の模様を見て監獄署の危險なるを見部下を督勵して囚人は全部署内に移し消防に努め居りしに果して監獄の一隅に延燒せしが幸に全燒に至らずして消止めたり

▲患者を救助す 今回の全燒家屋中の安東病院には數名の患者を收容し居りしが火勢四方に擴まり裏側に當れる病室よりは最早逃げ出づる餘地なかりしかば警察署の憂慮は一方ならず、されば桐原署長は官内裏手の板塀を打ち破らんとせしも幸に塀の低き箇所ありしかば同所を越へて患者六七名を警察署内に救助し一人の過ちすらなかりしは結構なりき

▲壁に穴を明け[illegible]桶屋より小言を喰ひし事もあり、此夜も三時頃迄も火を焚きたりと云へば其殘り火が壁傳ひに桶屋の仕事場なる鉋屑に燃へ移りたるならんと認定せらる、因に此温飩屋は東京淺草の[illegible]なる者なり

▲消防小頭負傷 火災の起りは午前四時二十分にして鎭火は同六時なりしが恰かも市民の熟睡せる折柄とて人寄り頗る遲く消防夫等の來りし頃は火勢隨分猖獗なりしかば何れも死力を盡して働きたるが此際居留地消防第一部小頭日田嘉吉は家屋の崩れ來りし爲め足部及び頸部に負傷せりと氣の毒なる次第なり

▲同情すべき清商 當地居住清國の豪商同順泰は去月中銅峴なる自宅を全燒して多額の損害を蒙りたるが今回類燒せし安東病院も又同商の所有なりしとは其不幸實に同情に堪へず

▲淫賣客の狼狽 旭町一丁目附近には多數の淫賣屋散在せるが此夜其處々に宿り合せし阿呆客共は此火災騒ぎに大に狼狽し要領を得ずして逃げ歸りしは滑稽なりき

▲消防の働き 此日最も危險なりしは民團役所にして火勢は殆んど役所の裏壁に接近し今や一辯めに[illegible]盡さんとせしが居留地消防及び皇宮消防等は全力を揚げて消防に努めしかば遂に延燒を免れしが若し消防の手を僅かにても忽せにしたらんには立所に燒け盡されしならん、尚ほ當日は消火栓は二箇所を使用したるがポンプは水氷りて甚だ使用に困難したりと

▲火元の爭ひ 火元は桶屋と温飩屋との中間なりと云ふも、今確かなる筋にて聞くにウドン屋の主人飯田は桶屋より出火せりと言ひ張るも桶屋は何等火の氣なく殊に出火の場所は仕事場にして元より火の在る[illegible]

[illegible]ものは何時迄か解らぬものの或る日姿しは土地の吉田屋といふ料理屋に掛けられて且那方のお座敷を勤めし折何の因縁か此の執り處無き姿しを一座の中の園田とやら侍る近在切つての豪農がセドク姿をば最負にされ初の座敷の一席の手前をも憚らず「碎けて呉れね解ツたか」との艶めしい言葉藝妓稼業の當座の挨拶はハイと答へて嫣然笑ふが習ひなれど恥しながら何時か身に泌む戀風にまだ初戀の未通娘のソレならなくも散る花の心の奥を汲み知りては戯かに心嬉しくも恥かしくもありしかど何時とはなしに時は移りて一座は散じけるより姿は其の旦那と相携へてある待合にと赴きたり（つゞく）

●不埒なる夫婦 廣島市西地方町當時旭町三丁目八百屋小田峯吉（[illegible]）さ云へるは郷里に八十八歳になる[illegible]老母を[illegible]し昨年情婦と共に渡韓し前記の處に夫婦世帯を持ち居れるが此程老母は死亡したるにぞ同郷人の當地若草町二丁目七番戸居住森安次郎が一昨日午後七時頃峯吉方に至り其不孝を責めて説諭を試みしに峯吉夫婦は却て激昂し兩人協力して安次郎を殴ち倒し鎗を持て面部を毆打し且つ庖丁にて負傷さへ爲さしめたる爲め安次郎は南部署に告訴したれば峯吉は目下同署にて取調中なり

●敷島遊廓の檢黴 仁川敷島遊廓に特別藝妓の檢黴は一昨日午後より同病院にて勵行せられたるが受檢者八十二名の中高砂樓の相模、吉野の二名は入院を命ぜられ又洗滌を要せしものは高砂の二見、兵庫、一山支店の摩野、敷島の小雛、日進の團助、深川の曙の六名にて他には別條なかりしが次會よりは明暗郡の檢黴も勵行する筈なりと云ふ

●（演）…（藝）…（だ）…（よ）…（り）

▲壽座 義正團一坐今日の替りは相馬事件

▲水樂亭 は遊七一行の落語、義太夫等にて不相變大當りなりと

▲酒井政俊 一行は昨日群山に乘込みたり次回は木浦に至る筈なりと

▲講談掲載豫告▼

小説「五月闇」は愈々本日を以て大團圓を告げたれば次號より既報の通り我邦講談界の泰斗眞龍齋貞水子の口述に係る

●義民佐倉宗吾

を連載することゝせり、貞水子の巧妙なる口調と精巧なる挿繪とは憐なる義民の物語を發揮して遺憾なかるべし

●仁川の狂犬徘徊 仁川市中には昨今數匹の狂犬現はれ通行人に咬み付き危險なるを以て仁川署にては之れが撲殺に從事し居れるが一昨日京町二丁目仁成泰方居住[illegible]及び京町井上勝太郎の二名は狂犬に咬まれ小倉病院にて治療を受けたるが京町派出所巡査は右狂犬を發見したれば京町海月樓に追ひ込み撲殺せんとしたる際却て狂犬に咬まれたりと尚ほ該狂犬は撲殺後矢野獸醫に解剖の上檢査したる處眞性の恐水病に罹り居たりと因に目下仁川には數頭の狂犬ある筈なれば市中通行人は充分注意すべしとなり

●花は紅柳は緑 自分ながら淺墓な事を仕出來したものとは後悔せしも今となつては後の祭り翌日主人に連れられて再び前橋にとは舞ひ戻りたるも一旦斯く首尾惡くして主人の信用を失ひし身は以前の如く面白からず一寸用達に行くにも人を附け座敷に務むる間も番頭やら仲居がシツキリ側を離れぬといふ有樣身はさながら囚徒の如く窮屈此上なかりしかど之も皆な吾が身から招いだ天罰と思ひ諦めチツと耐へて時節の來るを待ち居る中人間の運勢といふ

●仁川港の時化 一昨日來の強風の爲め仁川港内の波瀾非常に高く朝鮮船の顚覆せしもの數多ありたるが同地京町二丁目[illegible]

●義捐金募集

今回警視廳巡査山本雅夫氏が兇賊の爲め非業の死を遂げられたるは職務の爲めとは言ひながら誠に同情に堪へざるものあれば吾々同業者は茲に義捐金を募集し氏の遺族に送ることゝしたれば同情の諸君は左記何れの社にても御申込みありたし

一義捐金申込は一口十錢以上とす
一締切は本月十五日限り
一領收證の替りに新聞に掲載す
一義捐金は警視廳の手を經て遺族に贈與す

二月二日

京城日報社　大韓日報社　朝鮮日々新聞社　京城新報社

故山本警部弔慰金義捐者

一金二圓也　帝國新聞社長　鄭雲復
一金一圓也　東京藤原京城支店　店員一同
一金一圓也　南山町四丁目緑事　宮本政次郎

通計三十五圓七十錢也

▲無料紹介欄▼

人事部

求事業家 確實なる事業にて年十割以上の純益あり金五百圓以上出資し得る人を求む　旭町一の六十　京仁商會(一六三)

求妻 知人年三十五歲品行方正身体健全月收百圓餘三十前後にして普通教育ある婦人を望む　旭町一の六十　川村(一六四)

韓語速成教授　本町六丁目六五韓語速成講習所(一六五)

十九高等小學校及補習夜學卒業如何なる仕事にても不苦成だけ給料の多きを望む　姓名在社(一六七)

物件部

貸家　龍山停車場前十五間道路筋新築表口三間奥行四間瓦葺二階家畳建具一切付用水の便あり　龍山停車場前　電話四九島田(一四五)

貸間　二階八畳及び十畳何れも床付き紳士向き食事付き又はなし　龍山停車場前　電話四九島田(一四六)

貸家 龍山漢江通り三丁目十五間道路一等場所にて間口三間總二階附　京城明治町一丁目　ゑり徳(一五〇)

商店 向貸家但不家造作付間口三間店土間五坪六畳一室裏空地十五坪家賃二十三圓　永樂町二赤門前　岡(一五六)

土地 南山町二丁目南山麓眺望絶佳約三百坪割貸又は賣却何れ共御相談に應ず　永樂町二丁目　岡内(一五七)

御入用一トランシット一脚附一臺一十二磅鐵道レール四十七チャイン右賣却したし御入用の方は下名へ　南山町一澤田館　小谷(一五八)

瓦葺二階建新築家屋上六畳、三畳、下三畳、六畳煖爐床及玄關付外押入れ所裏厠わり畳建具一切付南山町一丁目櫻島三吉電話八三五(一五九)

貸間 二階六畳二間床間押入付至急貸したし　旭町二の六十　京仁商會(一六一)

電話至急買受けたし　本町五　月の家(一六〇)

雜貨 見切品見世仕舞品及諸道具其他不用品何でも買入ます　旭町一丁目　旭町競賣所(一六二)

賣家 大和町三丁目遊廓裏籠川端地坪約五十坪瓦葺平家造作付四軒建長家井戸付屋敷賣却致度　赤門　岡(一六八)

貸間 旭町便利の場所に賄付上等貸間あり高等官赤會社員向御希望の方は電話六五九番に御紹介被下度(一六九)

廣告

代書部
新狀諸願書申請書類調製
定款規約書等作成
登記登錄證明願手續
外國旅券出願代辨
官地貸拂下出願代辨
諸工事殖林等設計
土地建物鑛山測量製圖

紹介部
水田宅地鑛山賣買貸借仲介
電話店舗等讓渡仲介
船舶其他大物品賣買仲介
金錢貸借仲介
債券證券類賣買仲介
諸大家書畫鑑定紹介
外國語通辯並飜譯

本事務所は誠實を旨とし堅く秘密を守り普通事務は即時解決し依托事件を迅速に成効せしむることを期す

京城本町二丁目(民團役所前)
佐々木事務所

美術書畫
襖、壁、天井張
京城壽町一丁目
桂萬吉

移轉謹告

時下寒冷の候各位様益々御清榮奉敬賀候　弊店今回都合に依り左記の所に移轉し從來營業の雜貨部を廢し綿布類一式御賣に専心全力を盡し大阪支店に輸出部を設置し織物税は之れを省き非常に廉價を以て廣く各位の御高庇に添はんことを期し候希はくは弊店新進の勉勵御賦買旁々多少に不拘御用命の程伏而奉願上候　敬白
追て遠近衝狀にて御注文の際大凡見積り金を送付の方は荷物送付の運賃は弊店負擔可致に付精々御注文奉祈上候

京城旭町一丁目百十八番地
(日の出湯より七軒目上る)
大伴京城支店

齒科全般の治療
米國最新式義齒
京城本町六丁目(蕎そば横町)
米國齒科醫學博士　女醫　**中村安子**

●移轉廣告

免許　**催眠施術**
無催眠治療
無催眠治療薬を用ひず催眠術を施さず輕きは一回重きも數回の治療克く數年の固疾を全治す
(注意)無催眠治療に適する諸症左の如し
子宮病　ヒステリー　眩暈　胃病　月經不順　氣鬱　便秘　齒痛
京城若草町一丁目八十七番戸ノ七
(若草町一丁目藤田雜貨店東へ入ル二軒目門内櫻井町櫻井湯西へ入ル第二養生醫院隣)
弘濟療院

▲轉宅荷物運搬
(京龍間建築土木材料其他諸貨物の運搬及び人夫請負)
弊店儀今般右の營業を開始仕候に付ては貨物の多少又は土地の遠近に拘はらず御報知次第直ちに店員を派出して御用命に應じ可申尚ほ弊店は責任を重んじ万一御委托物に對し店員の不注意より損害を加へ候節は弊店に於て其**賠償の責に任**じ決して御損失は相掛申間敷候間續々御用被仰付度此段謹告候也
京城南大門通り二丁目二十番戸三浦商店向側
有田運送店
店主　有田豊太郎

特約販賣自製
漬物　味噌　醬油　製造元
京城本町五丁目
大上商店
(電話二五一番)
和洋酒、◯精酢、穀物麵類銘茶、罐詰、乾物荒物食料雜貨、ビール、米糀、塩辛各種特約販賣
尚御望に依り商品切手調進仕候

▲清潔の下宿▼
客室の清潔と調理の美味と御扱の懇切とを特色として下宿營業仕候間賑々敷御投宿の程御願申上候
壽町二丁目十番戸横小路(元花屋跡)
▲懇切の下宿▼　**かめ屋**

美味にして滋養に富める好飲料
金鵄園牌　二十四昭
蜂印香竄葡萄酒
東京　近藤利兵衛

西洋料理
東京高輪壽し
會席料理
丼類いろく
折詰辨當
同サンドーウヰッチ
南大門停車場構内
エーテー淵田
電話六八七番

東京火災保險株式會社
明治廿年創立資本金一千萬圓
日本國火災保險業の嚆矢
代辨店　山口吳服店
事務所　京城本町二の三電話九番

今般左記の所に移轉す
移轉御披露
永樂町貳丁目(赤門通り本町より五軒目)
洋服商　東京塚原支店
原雄吉

●土耳古金口莨直輸入●
G D S
イ ン ベ リ ヤ ル
·GDSIERLIS & SONS·
SAMOS (TURKEY)
ジーデーシエリス會社
出張所　明治町一丁目
エムジーシエリス
●韓國特約販賣店●
京城黃金町　**井出商店**　電話一九〇番
釜山本町　**内山米太郎**　電話一〇七番
平壤大和町　**佐藤商店**

純良
乳
牛乳元祖
平山牧場
京城大和町一丁目
電話百三十三番

一ヶ月八圓の下宿
黃金町
統明館
(明治町突當り)

營業科目
活版活字鑄造　石版銅版　木版彫刻　コロタイプ版　寫眞版　雷氣版　製本裝釘
今般日韓圖書印刷株式會社ト改稱致シ候ノ處ニ新築落成仕候ニ付營業ノ擴張ヲ致候間倍舊御愛顧之程奉願上候也
日韓印刷株式會社
本社　京城明治町三丁目　電話(三二三番)
東京出張所　東京京橋區南鍋町一ノ十　電話新橋(三九六二番)

●いざこゝ問はん●
我思ふ日韓新聞(三府四十三縣に於て發行する)を總て配達する取次店は有りや無しやと御尋ねの方あらは
唯**大成社**(本店京城領事館通　支店龍山本町参丁目)あるのみと御答可被下候
●我探す店ありや●

鴨綠江特種木材九州セメント取次販賣
末口一尺八寸以上長さ五間迄其他各種材
京城旭町三丁目
建築業　**柴田芝六**
電話五六八番

待合　春日
京城本町一丁目北側支那領事館前
洋室には琵琶、バイオリン、尺八、笛、月琴、碁、將棋等の備付あり御客樣方の娛樂に任意す

三一館
焦心眾志多年爲斯道雖於微…
易斷觀相教授　京城本町五丁目
通信判斷一件一圓特別二圓

●寒氣と牛乳
●牛乳と消毒
韓國畜産株式會社
南大門外(電話八八番)

日本郵船株式會社
瀛船仁川出帆廣告
貨物及船客取扱店
仁川海岸通　**郡回漕會**
電話三九番

●釜山長崎門司神戸行
山東丸　二月十二日後三時出
●大連行
高砂丸　二月十六日後一時出
●大連、大沽行
山東丸　三月二日前五時
●大連、大沽行
酒田丸　三月四日正午
●釜山出帆、元山、清津、浦鹽行
上川丸　二月二十四日
御注意　御乘船ノ際ハ殘橋波止場ヨリ本船迄送迎船ニテ御送リ可申候經過本船出帆ノ約五十分前ニ解纜ノ事

●新聞代　一部金二錢▲一ヶ月前金四十錢…
●廣告料　▲五號活字十九字詰一行一回…
發行兼編輯人　秋山忠三郎
印刷人　高木久馬太
發行所　京城　京城新報社